

両神山山行報告

【山行日】 2015年5月9(土) 曇りのち雨

【集 合】 岩舟支所P AM 5:00

【費 用】 マイカー2台 : 2,000円

【メンバー】 CL:鈴木、大西、岩淵、香川、
梶内、島田、須藤、津佐、増田、松舘

【コースタイム】岩舟支所P5:00＝八丁トンネル
P7:30/7:45＝上落合橋 7:55/8:10～八丁峠 9:00～
西岳 9:40～八丁峠 10:30/11:10～八丁トンネル
P12:00/12:30＝道の駅「はなぞの」13:20/13:40＝
岩舟支所P16:00



両神山八丁尾根コースを登りたいとリクエストがあり、アカヤシオの花の季節に計画した。



今年は花の時季がかなり早く、アカヤシオの花もピークは過ぎているようだ。

志賀坂トンネル手前を左に曲がり、金山志賀坂林道に入る。去年は大雪の影響で、この林道は通行止めになっていたが、今年は問題なく通行できた。八丁トンネル手前の駐車場でトイレを済ませる。八丁トンネルを抜けて、少し下って橋を渡った右側の駐車スペースに車を止める。ストレッチを済ませ、林道に戻って上落合橋を渡った右側が登山口。登山口からしばらくは、八丁沢に沿って歩く。

傾斜が緩く、足慣らしにはちょうど良い登りだ。道は次第に沢から離れ、九十九折れにグングン高度を上げて行く。新緑のシャワーを浴びながら歩く、気持ちが良い登山道だ。道の脇にはハシリドコロやタチツボスミレの花が、疲れを癒してくれる。やがて前方が明るくなり、展望が開けると間もなく八丁峠に着く。

峠にはベンチとテーブルがあり、休憩をとって水分とエネルギーを補給する。

峠からいったん南へ下り、再び登り始め鉄柱跡の上からが本格的な縦走路が始まる。鎖場と露岩のアップダウンが連続するハードなコースだ。山慣れない人は緊張を強いられ、思った以上に体力を消耗する。鎖場は、鎖をあくまでも補助的に使い、鎖に頼らず足で登ることが大切だ。



途中、小雨が降り出し岩が濡れ始める。ヘルメットの夫婦が降りて来たので「頂上まで行かれました

か？」と聞くと「いいえ雨が降って来たので西岳までで戻りました」との事。

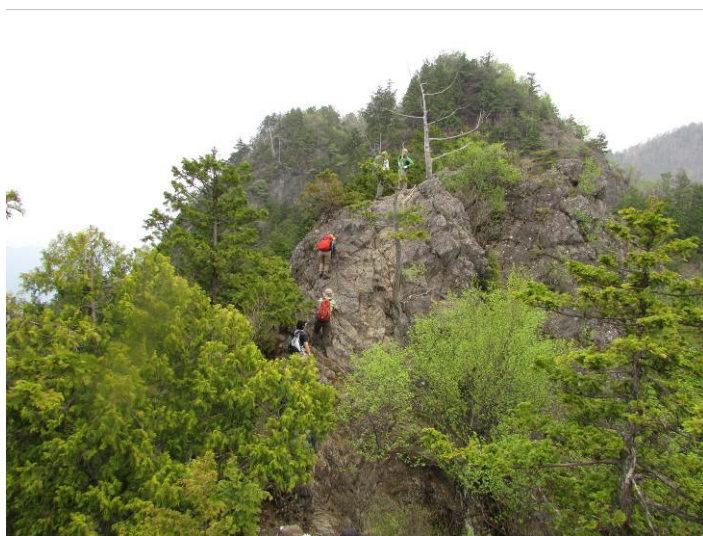


我々も西岳まで行き、判断することにした。ここでM田さんが慣れない岩場で疲れたようなので、S田さんと八丁峠に戻ることにした。8名で西岳まで登り、記念写真を撮って休憩をとっているとヘルメットのグループが降りてきた。聞くと「東岳までで、雨が降って来たので降りてきました」との事。

我々も登頂は断念し、下山することにした。下りも鎖場と露岩のアップダウンが続き、結構大変な下りである。最後の鎖場を降りると、先行して下った二人に追いついた。鉄柱跡

まで来ると危険箇所は終了し、少し安堵する。八丁峠まで下ると、途中で合った夫婦がテーブルで昼食を食べていた。我々も少し早いので、ランチタイムとしてテーブルの半分を借りてうどんを作る。今日のランチは、湯通したうどんに濃いめの汁をかけ、ハムやカニ風カマボコ、ネギなどをトッピングしたぶっかけうどん。煮込まないので熱くなく、この時季には食べ易いと好評だった。昼食を食べていた夫婦も、「初めて見ました、写真撮らせてください。」と写真に収めていた。食事を摂っている間に雨は止んでいた。せっかくだから下山は八丁トンネル登山口降りればとの提案に、車回収をS田さんとO西さんをお願いし、8名は八丁トンネル登山口に向かう。

八丁峠から右の登山道を降り、少し行くと坂本への分岐を右に分け直進する。途中トラバースする鎖場が3ヶ所あるが、鎖場に慣れたせいかな難なく下って行く。雨の心配も無くなり、快調に下り八丁トンネル登山口に降り立つ。トイレを済ませ、両神山のリベンジ話や明日の尾瀬ヶ原



縦走の会話で盛り上がった所に車が到着した。靴を履きかえて車に乗り込み帰路につく。

山頂は踏めなかったが、また必ずリベンジを果たすことを誓い次の山へ気持ちを切り替える。

途中道の駅「はなぞの」に寄り、野菜や花のお土産を買い、岩舟支所に2時間半早く帰着出来た。